

# テーマ:ひなんのスズメ

## ～津波避難に関する提言～



静岡県立熱海高等学校 (理科課題研究)

田中 太一郎	羽成 太陽	加来 立樹
神成 美葉	菊間 まりん	齊藤 涼花
澁谷 歩季	新宮 海太	田中 鈴乃
中山 信乃輔	原 暢弘	星川 桃子
小俣 翔吾	坂口 大和	高田 陽介

共催: 伊豆半島ジオパーク IZU PENINSULA GEOPARK

### 背景

#### 《高校生の心情》



熱海高校生防災訓練参加率

#### 《熱海市の現状》



- 3.11 のケースでシミュレーション → 助からない人がいる現実
  - 災害は晴天時に来るとは限らない(雨だったら?)
- 津波のハザードマップ + 土砂災害のハザードマップ → 逃げ道なし?!



### 災害の想定



#### 【相模トラフを震源とする津波の想定】

- 波高 13m
- 到達時間 3分(海岸)
- 最大浸水深  
(波高 13m の津波 ≠ 標高 13m まで浸水)
- 津波避難ビルの存在

- 避難経路に潜む危険
  - ・ 石垣やブロック塀の倒壊崩壊
  - ・ 避難経路の現状(植物の繁茂、障害物)
  - ・ 避難看板
  - ・ 暗闇での避難
  - ・ 狭く急な階段

### First



フィールドワーク実施

### 課題

地域と一緒に真剣に考える必要性

# Second Action!

目で見て!

肌で感じて!

## 津波避難ツアー実施

### 目的

- ・防災に関する意識の向上
- ・どこでも使える知識の提供

《対象》

近隣住民  
近隣小中学校  
旅行者



←当日の様子(動画)  
静岡放送「オレンジ」  
(Youtube アップロード)

《開会式・趣旨説明》



《実際の危険個所における説明》



《クイズ形式による説明》



《浸水想定外の標高での説明》



《まとめ・アンケート記入》



《地元の方との意見交換》



《避難看板に関する提言》



《夜間の照明に関する提言》



## 成果

《参加者》

- ごく身近な所にたくさんの危険があることを**理解した**。
- 避難経路上で出題されたクイズが避難行動を考える上でポイントを押さえてあり、**自分のこととして考えられました**。
- 避難経路は机上だけでなく**実際に歩いて確認することが重要**

《高校生》

- 実際ツアーを行い、参加者だけでなく、自分たちも安全な場所や危ない場所を**再確認**することができました。
- もしものことがあったとき自分が**どのように行動すればいい**のか、又、災害が起こる前に**対策として何をしなければなら**ないのかということ学ぶことができました。
- 自分も地域の避難場所のルート確認をしたいし、**家族と話し合いたい**と思いました。

## 提言・これから

### 《提言》

- 明確な避難経路
  - ・ 看板のユニバーサルデザイン化 (英語使用や具体的な場所の指示など)
  - ・ 道路への色付け
- 夜間の対策(LEDを増やす)

### 《これから》

- 幼稚園生や小学生を対象とした防災講座
- 別の地区での開催
- 観光客やイベント主催者に対しての開催
- 他の学校(中学校や高校)での実施  
→若年層の街づくりへの参画